

□発音レクチャー ※アメリカ英語を基本とします。

ここでは、「純ジャパ」の私たちが最短距離で正しい発音に近づくための5つの秘訣と、重点的に練習したい、「純ジャパ」が苦手とする子音の発音についてレクチャーします。

[解説] 横手尚子

発音練習が重要なワケ

- 1 自分で発音できる単語やフレーズは、どんなに速くても聴き取れるようになる。
- 2 発音の改善(=正しく発音ができる)は、スピーキング力とリスニング力の自信につながる。
- 3 完璧な発音でなくても、最低限のコツさえつかめば、十分相手に伝わる英語になる。

おすすめの発音練習

- ・紹介する単語例や練習例を使って繰り返し練習する。
- ・「5つの秘訣」を意識しながら、「パワー音読」をする。
- ・実際に英語で話す。(理想はネイティブ相手。通じる発音・通じない発音の確認ができます。)
- ・スマホやPCの英語音声入力システムやアプリを使って、自分の英語が正しく聞き取られるかを確認してみる。
- ・初めての単語については必ず正しい発音を確認する。(インターネット上には、ネイティブの発音を聞ける無料サイトがあります。)

一気に英語らしい発音になる「5つの秘訣」

WARMING UP (基礎知識)

例) Christmas / Disneyland / mind

音節

▷音節 (syllable) とは、1音で発音される音のまとまりのこと。母音 [a、e、i、o、u、(y) ※字ではない。【y】は常に母音ではない。] を1つだけ含み、以下の4つのパターンがあります。

ア) 母音単独 イ) 子音+母音

ウ) 母音+子音 エ) 子音+母音+子音

例の単語の場合、Christ·mas / Dis·ney·land / mind となり、それぞれ (2音節) / (3音節) / (1音節) の単語となります。音節の区切り方については細かい法則があります。ここでは、**母音の数=音節の数、英語の単語にはアクセントがある (アクセントを受ける音節がある)** ということだけ覚えておきましょう。

アクセント

▷上の3つの単語を日本語で言うとき、私たちはすべての音節を均等にメリハリなく同じテンポで発音します (クリスマス/ディズニーランド/マインド)。しかし、**ネイティブは音節ごとに長さの異なった読み方をします。**

・一般的には、アクセントとは「強く発音される音節・母音」のことですが、『JJ』では「長さ」にポイントを置きます。音節が多い単語には、第1アクセント (もっとも強く)、第2アクセント (やや強く) など複数のアクセントがあります。多くの辞書では、それぞれ á / à で示されています。

秘訣 1 ▶ 第1アクセントのある母音を長めに発音する! [MP3 Part1]

- ▷ アクセントで大切なのは、(音の強さや高さよりも)音の長さ。
- ▷ 第1アクセントのある母音は長めに読む。
- ▷ 第1アクセント以外は、軽く弱く曖昧に発音する。

伝わりやすい
英語になる

例) *色太字が第1アクセント

un·der·stand / ba·na·na / in·for·ma·tion
アンダスタ^ンード バナ^アーナ インフォ^メエーション

com·mu·ni·ca·tion / in·ter·na·tion·al
コミュヌ^ケエーション インタ^ナアーションアル

● information の発音解説

第1アクセント(第3音節)の【ma】をはっきりと長めに発音(日本語風の“メイ”ではなく、「メーイ」のように二重母音は最初の母音が強く長くなる)。また、それ以外の音節の母音は弱く曖昧に発音する(第1アクセントを強く言えば自然にそうなるとも言えます)。

秘訣 2 ▶ 「繋がる音」をマスターする! [MP3 Part2]

※連結・リンキング(リエゾン)などと言われます。

ア) 「機能語」の発音

冠詞や前置詞などの「機能語」は早く弱く短く発音する。その際、音が繋がりが変化(イ)(ウ)をしたり、音が脱落すること(秘訣3)がある。とくに、速い会話の場合。

・冠詞

冠詞は名詞の一部として名詞とくっつけて、弱く一息で発音

例) a boy / a car / a good girl / the class / the sun / the bad man

・前置詞

前置詞は名詞の一部のように名詞とくっつけて、弱く一息で発音

例) at school / on it / in an hour / for a moment /
ア^スクー | オニ t | イン^ナナウア | フォウラ

to go / from him / with me
トゥ^ゴウ | フロ m ヒン | ウイ th ミ

イ) 子音 + 母音が結びつく

前の単語の「末尾の子音」とそれに続く後ろの単語の「最初の母音」は結びついて発音される。

例) up and down / black and white. / I'm away. / I won't give up.
ペン ケエン マ ヴァ

How about you? / Could you sign here, please?
ユー ジュ

※速くなると、【t】が脱落して、ハウバウユになる。

ウ) D+ラリルレロのように変わる

アクセントのない【t】や【d】の後ろに弱音の母音が続くと、「ダ・ディ・デュ・デ・ド」と「ラ・リ・ル・レ・ロ」が混ざったような音になることがある。

例) water / a lot of / not at all / Good afternoon.
Good evening. / Pick it up! / Check it out! / I got it.
I got a hair cut. / Think about it. / Get out of here!
Could I have this? / What are you doing? / What about you?
Where did you get it? / Which way should I go?
He is sitting on the chair. / I'm not good at speaking English.

秘訣 3 ▶ 「消える音(脱落する音)」を知る! [MP3 Part3]

ア) 破裂音

語尾の【d】【g】【k】【p】【b】【t】(破裂音)はほぼ消える。また、それらに子音が続く場合も消えることがある。

例) -d Good morning! / bad condition
グ^ッモーニン | バ^ッコンディション

-g a big brother / going fast
ビ^ッブラ thア | ガウ^ッインファース t

-k I came back from Tokyo. / Be quick!
バッ^ッラム | クイ^ッ

ロ 発音レクチャー

例) -p help me / cupboard
ヘ | ミ カッポー d

-b a club member / Good job!
クラメンバ グッジョ

-t let me / not bad / I got it. / I'm sorry about that.
レツミ ナツバァ ゴディ アバウ th アツ

イ) 連続する似た子音

似ている子音が連続した場合、最初の子音は省略される、後の色太字の音が強調される。

例) a big glass / Is she your teacher? / Sit down.
Don't forget to call me.

ウ) ほとんど音にしない(ンのように聞こえる) 語尾の [g]。

口を軽く空けて、舌を口腔の奥に当て鼻から(ん)と発音する感じ。

例) coming / talking / king / young / morning

エ) 速くなると、ほぼ脱落する l の前の [t]。

例) exactly / honestly / definitely

オ) 速い会話では、ただ脱落する機能語のアタマの [h]。 ※文頭時を除く

例) when he / let him / like her
ウェニー レツディム ライカァ

*消えた分だけ音が減るので、普段からそのように発音練習をしよう!

● up and down の発音解説

アップダウン → [p] と [a] の音が連結し、and の d 音が消滅する。

● Check it out! の発音解説

チェケラウツ → [k] と [i]、[t] と [o] の音が連結し、[t] のタの音がラの音に変化する。Out の t 音が消滅する (語末の ~t、~d は「〜」のように言う寸前で発声を止めるようにする。

「繋がる音」「消える音」のルールをマスターするだけで、聞き取りが大幅に楽になり、また音読が力みなく驚くほど楽にできるようになります。

● 文全体を英語らしく発音する秘訣

音に強弱をつける!

(1) 強く発音される語

内容語: 意味のある語・聞こえないと困る重要な単語

名詞・動詞・形容詞・副詞・数詞・疑問詞・指示代名詞等

(2) 弱く発音される語

機能語: 意味のない語・聞こえなくてもあまり困らない単語

冠詞・前置詞・be 動詞・接続詞・助動詞・代名詞・関係代名詞・関係副詞等

聞いているとそれほど速くは感じないのに、一緒に発音するとネイティブの英語についていけないと感じたことはありませんか? これは、皆さんがすべての音を一つ一つ発音しているのに対し、ネイティブは音を弱音化したり、省略したりしているため、同じ単語や文でも発音する時間が短縮されているからなのです。そして、聞こえない単語の多くはその単語がなくてもおおよその意味が通じる単語 (機能

語: 意味のない語・聞こえなくてもあまり困らない単語・アクセントのない音) であることがほとんどです。つまり、大切な単語 (内容語: 意味のある語・聞こえないと困る重要な単語) は目立たせるために、「長めに」はっきりと発音し、あまり重要でない単語は曖昧に発音する、というメリハリをつけることで英語らしく、通じやすい英語になるということを覚えておきましょう。

秘訣 4 ▶ 会話で使われる「短縮形の砕けた音」を知る!

[MP3 Part4]

ネイティブがよく使う会話特有の短縮形はぜひ覚えましょう。

gonna (going to) ガナ

wanna (want to/want a) ワナ

gotta (have got to/got a) ガラ

kinda (kind of) カインダ

文例) It's gonna be ok. / I wanna coke. /

Do you wanna come with me?

Sorry, I gotta go now. / What (kinda) food do you like?



秘訣5 ▶ 「子音+l/r/n/c/k など」は素早く一気に発音する

[MP3 Part5]

bl/dr/sn/trなど子音が2つ繋がったものは素早く発音します。
2音を一気に繋げて読むので、それと同時に後ろの母音が押し出される感じ。
例えば、blackを日本語的に発音すると、「ブラック」となり、[b]の後に
不要な[u/ウ]を入れてしまう。これを防ぐために、[bl]を素早く一気に発音します。

例) blue / black / brown / close / drive / glue / play /
pray / scoop / snack / snow / snoop / train / try



難しい子音は練習あるのみ! [MP3 Part6]

1 ▶ [w]

[w]はワと違ってかなりしっかりと唇を丸めた状態(ウの形)から
力強く発音すると英語らしい音になる。

例) what / why / when / where / wet / west /
window / wine / winter

2 ▶ [r]と[l]

純ジャパは、[r]も[l]もカタカナのラ行で代用してしまいがちですが、
これらはまったく異なる2つの子音です。

▷ [r]は純ジャパが苦手な子音の1つ。[r]の発音で大切なことは、[w]の時のように極端に唇を丸め
た状態からスタートし、「舌先や下の側面(脇)が口の中のどこにもつかない」ということ。

例) red / rabbit / room / run

▷ [l]を発音する時は、舌先を上前歯の裏側にくっつけた状態で、息が左右両側を通過して外に出て行
く感覚を意識する。

例) lie / lend / link / laugh

練習) right ⇔ light / rock ⇔ lock / raw ⇔ law / row ⇔ low
rip ⇔ lip / work ⇔ walk / wrong ⇔ long

3 ▶ [s] [sh] [th]の違い

- ▷ [s]はCやseeと同じ音。
- ▷ [sh]は「シーツ! (静かにしなさい!)」と同じ音。
- ▷ [th]は前歯の後ろに舌を軽く当て、前歯と舌の間から息を弱めに漏らす感じに発音する。

練習) see ⇔ she / sow ⇔ show / seat ⇔ sheet
sing ⇔ thing / slow ⇔ throw / sin ⇔ thin
sink ⇔ think / sea otter ⇔ theater

● Tongue Twister (早口言葉)に挑戦しよう! [MP3 Part7]

早口言葉は、pronunciation practice (発音練習)、accent reduction (発音矯正)、
fluency (流暢さ)のための効果てきめんの練習法です。

I scream, you scream, we all scream for ice cream.
私は叫ぶ、あなたが叫ぶ、アイスクリームが食べたいとみんなが叫ぶ。

Red lorry, yellow lorry. (3回繰り返す)
赤い大型トラック、黄色い大型トラック。

She sells seashells on the seashore.
彼女は海岸で貝殻を売る。